

医療介護の一体改革 ふたつの国民会議を経験して

2017年6月30日 15時～16時30分

於 日本記者クラブ

慶應義塾大学商学部 権丈善一

講演の骨子

- 2つの国民会議と医療介護の一体改革
 - その政治動学における位置
- 2つの国民会議を理解する上での注意点
- 医療介護の一体改革
 - 治す医療から治し支える医療へ
 - 地域包括ケアへの医療界の積極的関わり
 - データによる制御機構の構築
 - 提供体制の改革に資する消費税を財源とする基金の創設
 - フリーアクセスから緩やかなゲートキーパー機能へ
 - 医療職種の業務見直し
 - 患者の行動変容
 - 国保の都道府県化
 - 地域医療構想の医師配置版
- 付録
 - 医師需給分科会

新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会

- 第1回 平成28年10月6日
- 発端——医師需給分科会中間取りまとめ（案）
平成28年5月19日版

○ しかし、かかりつけ医の普及等を踏まえた外来医療の姿、将来の女性の働き方や医師の高齢化が医師需給に与える影響について、今回の前提となった限られたデータでは、実態を十分に把握することができなかった。

○ 国民のニーズに答え得る、安心・安全な医療を国民へ提供するには、まずは将来の男性・女性いずれの医師についても年齢構成等の変化を適切に見通す中で、医師の働き方・勤務状況等の実態について、より精度の高い推計を行い、将来、あるべき医療提供体制とそこにおける医師の新しい働き方を示すビジョンを策定した上で、必要な医師数を推計するプロセスが必要である。

○ そこで本年度、医師の働き方・勤務状況等の現状を正しく把握するために、新たな全国調査を行うこととした。さらに、本調査では、女性医師をはじめとする医師の働き方改革を含めた意向等に関する調査等も併せて行い、本年中に各都道府県が策定する地域医療構想やあるべき医療の姿を踏まえ、「新たな医療の在り方を踏まえた医師の働き方ビジョン（仮称）」を策定し、その上で必要な医師数を検討する。

第7回医師需給分科会（平成28回9月15日）

- ま会くらの踏討よ足こを檢にし。方の常少す。りこ非うま在、ともいのは、ンは思療実ヨでとす。医シ測だまなす。ツ予会したでミ来討い「新」の將檢願て会のるおは、い討給あを、はつ檢需の明次に本師係説す。催、医関てす開とたくめまのるしご含まき会見ますもだ討をりの連た檢身なも関てヨ。論ととせジた議こ会らビし回う討移方ま先い檢にきり。と本に働知るう。はのに、あるか、で等前でやとれ師日会し緯そ護数討少経看も檢うの長・私るも置座師はあ、設峰医在のと会片た存係い討○えの関な檢
- . . .
- なで、いせて対とけ度と中いてましとご受一何の置つ得催んたをうは拶をやを開ちき明もはの挨扱するてきて説。る御根っざけにしもす。れのうおわか方論度まら頭いを思をの議一いや冒ととと間政でに思をのだこか時行までと會臣字ないがは今まだう大数うな々に今もい、うよは我そ主はと。うはいうでをもがとつす。ことういの会と会こもまてこととい討非のなもいしいはだな檢是こん私思とたて字いの。そはと政きし数でこすて。とい行おとなしにましね。こたて、て意味をめりとよるきで、げ現意味たなけすいだっ上に無説のに付でたあし仮くと何とてとれいが申、全ん、こ立こかて緯非てをちとうはう書し経是し字きいいいでいが理な、を数でなとれと員整るも論たしげいこる成をいど議げと上な。め構ころれ分拳政とらい決口そいけ十て行んかたで山てすでし、ち分き念。し員で中意はきくだ概いと成のの合のを全たのな會構る会かう報かい意も討村か科ない情のて上と檢今分分んと。るし、この○く本みるんい応をたこ

をててべ現ると話れっすにじるおわな出現にあな言にを、みがうとと論は踏情よろこ結てを事のしうのし夢ろ論にいそ関のい議別とににちろのをかのたい別けの終こ人ははだる最うい辺在こす、い若の偏こうでと、そ域。ど形かで、地すにるる理です。とま的せな論のまスイ終さうのすしン思最クど人またラとをンが大いいる増り増。思いい給員を員すと願需て定方定まいお師し時両のいなく医ク臨は部てらし、シのれ学しなろらり部こ医目はよかは字り。注て非長私医はすにっ是課、はやま常あ、井もの、い非ても武どるら思もしどれがかとど決れ員けなすかなはけ成たつでい生とす構し局けな校こで井ま結わは高なの新れ、るでのうう

わでずののか言形自そでのはたでれ形るとし報すななこと情いうになつの。よと計ちりすたこ余き周まうう、はといやいらてろてしうかいしっすつろ察おにでにいはが当の在、と長本も存だこ課るのたう事もい議。い医どて会すとどれっのでかほけやこける先すをもわい。で長身いてすの座自なっまいの私はやいしう。とをてろほすことよのまたこ思ば議いいうとれ会て頂いかき親っをうのでは思供どるに私と提、ないす。い報とにれま員い情在話きり成がし存うがお構ういのいけて田ほなそと分っ森い告ら整み思

○な報か調任と

定のこ、につ先りはのこうも提にがなの来そいど前のうもつ将。とれをもほにいのたたけ度のの話と部つきす制そらな学あてで行度ちしる医で出う現制そかすり眼がそでの、おうは主題も味そだどどやの問方意てたつ、シののるし。よてもイ性一あ対すちつどメ在バはにまた伺れが偏ン論れいまをけののメ議を思れ話すうと、の。とこおでいごろうすか、ろうと科こほまいといそか療とのいなるろもる診る々思はいい私すのす我とでてら、討医察、かのっかと検門はか論るや局すうう専うう議いで務ま言ど、ほようて提事いでとのしいれ前は思味い題らまとさのれと意つ問ちいかとでこいるにのあ言るうま。たあ数性。とえそ今すきが総在すで考直がまだ体給偏ま形に見らいた白需域いなう度ち思いい議た地て別よ一ことて会めらっしのう、いせの含かな少どもてなさも題にうてて出ねえ員問ともしいにか考

平成28年10月6日第8回医師需給分科会

- 山口構成員机上配布資料
 - [第8回医師需給分科会への意見](#)

- 第8回医師需給分科会（平成28年10月6日）から、数日後発信の連絡
- 「先日の医師需給分科会の「中間とりまとめ」についての件です」
-
- 一昨日の会議が始まる前、片峰先生から「ビジョン検討会」なんか聞いていないのだがという相談を受けたとき、・・・相当部分は、当事者の性格からきていると答えています。
- 5月の頃から、僕は、このあたりは完全におかしく、いずれ先日のような事態が起こると思っけていまして、最終報告書作成の時にはこういうことはさせまいと、会議の中で少しずつ話をするとともに、知人には、「衆愚といえども手続きだけはちゃんと経るのが民主主義。手続きを無視したら独裁だな」と説明しています。

平成29年4月20日 医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会（第9回）

- ○山口構成員 ありがとうございます。
- 私も「医師需給分科会」の構成員ですが、中間取りまとめの中にビジョン検討会のことが入ってきたので、それを踏まえて開催したと、先ほど経緯の御説明がありました。でも、このビジョン検討会が必要だということを「医師需給分科会」の中では一度も話し合われたことがなく、それも案で出されていた中間まとめの中にはずっと入っていなかったのに、その中間まとめを決める直前になって文言が入って、ほとんどの構成員が入ったことに気づかずに同意をしたという経緯があります。その後、ビジョン検討会が開かれて、その報告だけがあって、何の説明もないまま「医師需給分科会」が中断して半年が経過した。

平成28年5月19日 医療従事者の需給に関する 検討会 医師需給分科会（第6回）議事録

- ○権丈構成員 今の話とも関係するのですが、中間とりまとめ（案）4ページで、「新たな医療の在り方を踏まえた医師の働き方ビジョン」を策定し、もう少し精緻なものをやっていくというのがあります。ここは、今朝送って頂いたバージョンで新しく挿入された箇所ですね。誰が挿入を指示したのかは知りませんが、こうした試算の精緻化をずっとやってみても、先ほどの**女性医師 0.8**、**高齢医師 0.8**、**研修医 0.3**等の係数が少し変わるぐらいしかできないだろうことが予想できます。
- ・ ・ ・ 医師の需給推計について試算を新しくやり直しますよと言っても、本日の参考資料1の34ページにある**女性医師の計数が 0.78 になりました**というのはあるかもしれないですけど、そういうところに皆さんのエネルギーが注がれ、偏在対策に対する政策展開がおろそかになることは避けてもらいたいと思います。

平成29年4月20日 医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会（第9回）

- ○堺構成員 「ビジョン検討会報告書」45ページに書いてあるように、需給検討会、分科会で議論しなさいということなのですけれども、そうしますと、議論の中でどなたかがふぐあいと感じたら、またビジョン検討会が開かれるのですか。